

採用担当者に聞く 就

### (株)天満屋

岡山市北区表町

TEL 086-231-

https://www.tenmaya.

立子事  
コ人

天満屋は今年、創業195周年を迎えました。1829年、ペリー来航より前に創業したと思うと、歴史の長さに驚くとともに支えてくださる地域の皆さまへの感謝の気持ちがあふれます。今年「あ

なから、先輩方が築き上げてきた歴史、地域の皆さまからの信頼を受け継ぎ、次の世代に渡すためにも、グループ35社の中核企業として「新しい地方百貨店」のビジネスモデルを構築することを目指します。「モノを売る」だけでは、一緒に地域を盛り上げていきたいです！



天満屋岡山本店

創業/1829年  
主要事業/百貨店事業、クレジット、レンタカー事業、印刷事業、運輸事業、建設・不動産、IT事業、印刷  
グループ企業数/35社 (2024年1月)  
グループ従業員数/8156人 (2023年)  
グループ売上高/1654億円 (2023年)

企画・制作/山陽新聞

## コットン製造事業譲渡

### テイメン 瑞光の子会社へ

コットン製品製造販売のテイメン(倉敷市連島町連島)は、製造事業を衛生用品の製造機大手・瑞光(大阪府)の子会社に譲渡する。5日にも契約を結び、販売に注力して売り上げ増を図る。

瑞光が1月に設立した完全子会社のCOTEX(コーテックス、倉敷市連島町連島)が、テイメンの本社工場や生産設備を21日

付で引き継ぐ予定。譲渡額は非公表。コーテックスの社長は瑞光の梅林豊志社長が兼務し、テイメンの岸本将幸社長ら取締役2人と全従業員13人が転籍する。テイメンには岸本社長の妻で取締役の名月氏が残り、コーテックスから製品を仕入れて販売する。

テイメンは医療や化粧品用の脱脂綿、赤ちゃんのお尻拭きを手がける。海外製品の流入で競争が激化し、付加価値の高い製品開発に向けて資金面などの協力相手を探していた。瑞光は紙おむつや生理用ナプキンの製造機メーカー。新規事業の創出を模索する中、取引先を通じてテイメンとつながり、製造事業を引き継ぎ、協業することを決めた。

テイメンは「積極的な投資を行う大資本に太刀打ちできない部分がある。瑞光と共に競争力を高めて成長したい」とし、瑞光は「製造機だけでなく、衛生用品

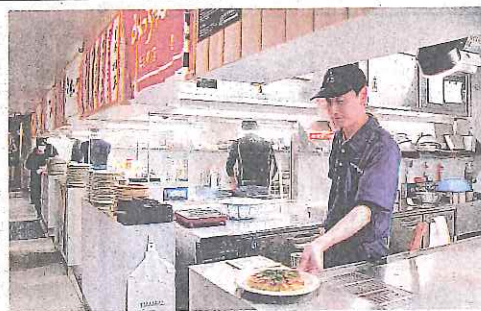
そのものに関わることでコットンの価値を高めていく」とする。テイメンは1951年設立、資本金1千万円、売上高非公表。瑞光は63年設立、資本金18億8851

万円、連結売上高265億500万円(2023年2月期)、グループ従業員617人。東京証券取引所の最上位「プライム市場」に上場している。(鈴木省吾)

### お好み焼き老舗 共同店舗に出店

#### 広島市中区大手町

広島市中区大手町にあるお好み焼きの共同店舗「広島お好み横丁/5(ゴブロン)」で、2022年の開業以来、初めて全5店がそろった。1月中旬に老舗の「みっちゃん総本店」が出店した。関係者は、集客力とブランド力のさらなる向上に期待を寄せる。



みっちゃん総本店(手前)の出店で全5店がそろったゴブロン

ゴブロンは約280平方

もあり、多くの訪日客でにぎわう。みっちゃん総本店は訪日客向けに英語のメニューを置いている。運営するISE広島育ち(同市佐伯区)企画事業本部の馬場雅也副部長は「既子占

# 後継者不在 改善57%

信用調査会社・帝国データバンク岡山支店(岡山市北区下石井)は、岡山県内企業の事業承継に関する調査結果(昨年10月末現在)をまとめた。後継者不在の企業は57.3%で、2014年の調査開始以来初めて6割を切った。同支店は「事業承継の大切さが経営者に浸透し、金融機関や専門会社が仲介するM&A(企業合併・買収)といった選択肢が増えつつあるため」と分析する。(岡崎創史)

の施設内に5店分の調理場と共同の飲食スペース(77席)を備える。他に「しおや」「弁兵衛」「湊商店」「UNDO(あんど)」が

もおり、多くの訪日客でにぎわう。みっちゃん総本店は訪日客向けに英語のメニューを置いている。運営するISE広島育ち(同市佐伯区)企画事業本部の馬場雅也副部長は「既子占

豚熱の感染源の一つとみられており、ジビエ(野生鳥獣肉)として利用し続けるための防疫体制を説明する。午後1時半~4時10分。無料。定員30人で、オンライン聴講(50人)もできる。6日午後5時までに農政局のホームページにある専用フォームから申し込み。問

### ジビエ利用拡大 連携フォーラム

#### 15日、中四国農政局

中国四国農政局(岡山市北区下石井)は15日、野生鳥獣の肉や皮の利用拡大をテーマにした「ジビエ連携フォーラム」を同所の岡山第2合同庁舎で開く。建部獣皮有効活用研究所(同建部町宮地)の頼本ちひろ代表が、イノシシやシカの皮を使った雑貨の製造販売など研究所の事業について話す。2021年に家畜伝染病・豚熱(CSF)が発生した和歌山県古座川町の職員も登壇。イノシシは豚熱の感染源の一つとみられており、ジビエ(野生鳥獣肉)として利用し続けるための防疫体制を説明する。午後1時半~4時10分。無料。定員30人で、オンライン聴講(50人)もできる。6日午後5時までに農政局のホームページにある専用フォームから申し込み。問

リラックスできる入浴剤  
バスクリンは就寝前に親子でくつろげる入浴剤「バスクリン」もう夜ですよ

ペット対策の空気清浄機  
LGエレクトロニクス・ジャパン(東京)は、ペットの抜け毛や臭い対策に特化

甘酸っぱいイチゴチョコ  
ロッテは、ホワイトチョコレートにイチゴパウダーを練り込んだ「ガーナピンクチョコレート」を期間限定で発売

物流や荷